



写真:枝に突き刺さっているバッタ (撮影:平成25年12月15日)

「モズのはやにえ」

はっきりと分かっていないモズの不思議な習性

木 々が葉を落とすと、今まで気付かなかったさまざまなものが目立つようになります。チヨウやガの繭。樹皮に産み付けられた卵。夏の間使われていた鳥の巣。そして、モズのはやにえ。

冬の間、標高の高いえびの高原から姿を消す野鳥モズですが、春から秋は霧島山のいたる所で活動しています。しかし高木の多い山の中をハイキングしていてもなかなか、はやにえは見つかりません。はやにえを比較的に見つけやすいのは人工物があったり、低木がまばらにあるような場所です。

えびの高原周辺は人の背丈ほどの木が比較的多くあります。そして人工物のがった部分は獲物を突き刺すのにもってこいです。

最も多いのはバッタの仲間、そしてカエル。驚いたことに体内に猛毒を含むヒメツチハンミョウも突き刺さっていることもあります。

他にも意外なものが刺さっているかもしれません。もし見つけたら、ぜひ、当館にご連絡ください。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

モズのはやにえ

モズは捕えた獲物を木の枝等に突き刺したり、木の枝股に挟む行為を行う。何のために行われるかは、よく分かっていない。

